

平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について

鹿角市教育委員会

I 実施の状況

1. 調査の目的

- (1) 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2. 実施学年

小学校第6学年、中学校第3学年

3. 調査の内容

(1) 教科に関する調査

○国語A、算数・数学A 主として「知識」に関する問題

○国語B、算数・数学B 主として「活用」に関する問題

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4. 実施期日

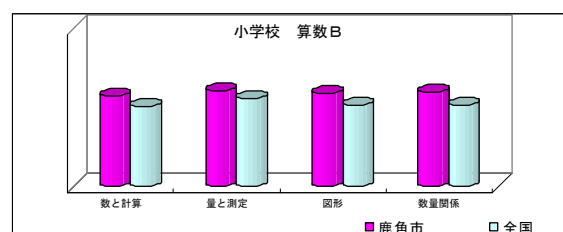
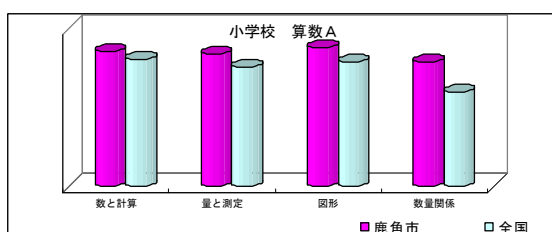
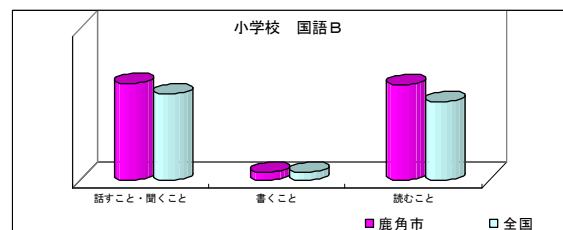
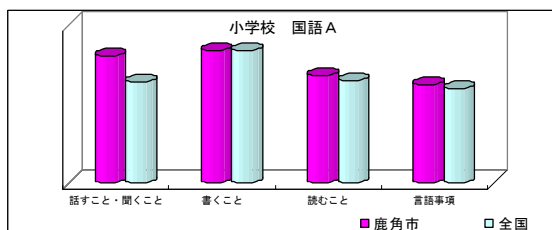
平成21年4月21日(火)

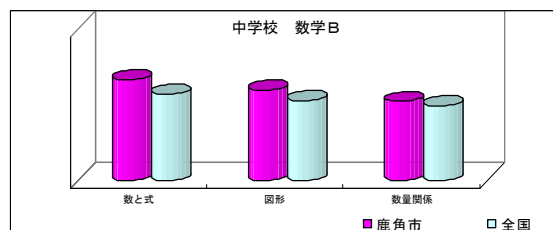
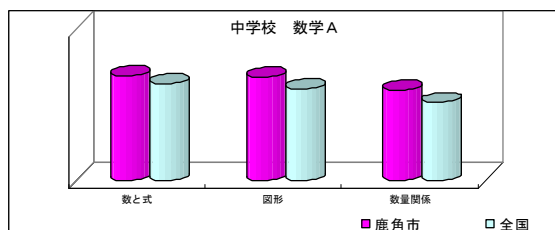
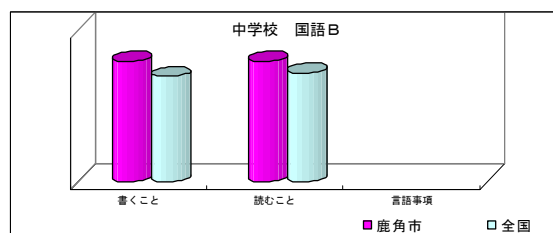
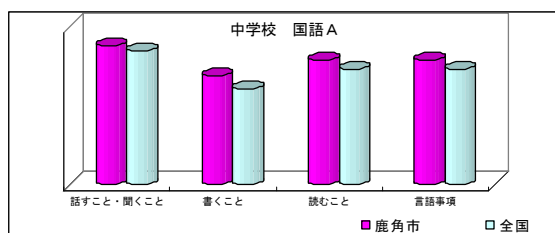
II 結果の概要

1. 概況

- 小・中学校とも全国平均正答率と比較した場合は良好であるが、秋田県平均正答率と比較した場合、小学校国語A・B、小学校算数Bに課題がある。(平成20年度と同様)
- 領域別平均正答率では、小・中学校の全領域で全国平均正答率を上回っており良好である。秋田県平均正答率と比べると、小学校では国語Aの「話すこと・聞くこと」で3ポイントほど上回っており良好であるが、その他の3領域(書くこと、読むこと、言語事項)と国語Bの4領域、小学校算数Bの2領域(量と測定、図形)に課題がある。特に国語「書くこと」「言語事項」の領域については、知識・活用ともに力を入れていく必要がある。(「書くこと」は平成20年度と同様)中学校では数学Bの「数量関係」に課題があるが、その他の領域は秋田県平均正答率と同程度である。
- 今年度は、設問の数や問題文の分量が減ったこともあり、全問正答者が小学校・算数Aで22.5%(H20・5.2%)、中学校・国語Bで26.5%(H20・7.9%)と昨年度と比べて大きく上回る結果となっている。また、9割以上の正答者の割合も小学校・算数Aで46%、中学校・国語Aで37.6%、中学校・国語Bで49.7%と上位層が増加している。

2. 領域別平均正答率の結果





3. 小問別平均正答率の結果

教科	設問数	全国平均正答率との比較
小学校	国語 A	18 14の設問で全国より上回る。(6の設問で全国5ポイント以上)
	国語 B	10 9の設問で全国より上回る。(7の設問で全国5ポイント以上)
	算数 A	18 17の設問で全国より上回る。(11の設問で全国5ポイント以上)
	算数 B	14 11の設問で全国より上回る。(9の設問で全国5ポイント以上)
中学校	国語 A	33 32の設問で全国より上回る。(12の設問で全国5ポイント以上)
	国語 B	11 11の設問で全国より上回る。(7の設問で全国5ポイント以上)
	数学 A	33 27の設問で全国より上回る。(18の設問で全国5ポイント以上)
	数学 B	15 14の設問で全国より上回る。(9の設問で全国5ポイント以上)

4. 各教科の状況【○…良好な内容(正答率90%以上) △…課題となる内容(正答率40%未満)】

<小学校・国語 A>

- 学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む(混雑、移る、採集)
- 文章の内容に合わせて、小見出しを書く
- △ひらがなで表記されたものをローマ字で書く(たべもの)
- △ローマ字で表記されたものを正しく読む(h a p p a)
- △文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- △文字の大きさや配列に注意して書く

<小学校・国語 B>

- 目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す
- △調べる内容を見通して、必要な事柄を整理する
- △目的や意図に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く
- △自分の立場や意図を明確にして話し合う

<小学校・算数 A>

- 繰り上がりのある加法の計算をすることができる
- 整数の乗法の計算をすることができる
- 整数の除法の計算をすることができる
- 小数の除法の計算をすることができる
- 同分母の分数の減法の計算をすることができる
- 減法と除法の混合した整数の計算をすることができる
- 長さについての感覚を身に付けている
- 長方形、直角三角形の定義や性質について理解している
- 平行四辺形の向き合う辺の長さが等しいという性質を理解している

＜小学校・算数Ｂ＞

- 整数と小数の加法を用いて、重さを求めることができる
- △与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択することができる
- △基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述することができる
- △図形を変えて考える発展的な場面で、面積の関係をとらえ、判断の理由を記述する

＜中学校・国語Ａ＞

- 効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する
- 本文の展開に即して内容をとらえる
- 話の内容から必要な情報を的確に聞き取る
- 聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問する
- 目次の特徴や役割を理解する
- 文脈に即して漢字を正しく書く（じしゃく）
- 文脈に即して漢字を正しく読む（抵抗、伴奏、迫る）
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（たとえそうであっても）
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む
- △短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ

＜中学校・国語Ｂ＞

- 語句に注意し、その効果的な使い方に気付く

＜中学校・数学Ａ＞

- 比の意味を理解している
- 単項式どうしの乗法の計算をすることができる
- 展開図で示された空間図形について、２つの面の位置関係（面と面の平行）をとらえることができる
- 直角三角形の一边を軸とする回転によって円錐が構成されることを理解している
- 円柱の展開図において、底面の円周の長さと側面の長方形の辺の長さとの関係を理解している
- △三角形の内角の和が 180° であることの証明について正しいものを選ぶ
- △二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している

＜中学校・数学Ｂ＞

- 事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえることができる
- 問題場面における考察の対象を明確にとらえている
- △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- △不確定な事象についての予想を実験で確かめるための方法を考えることができる

Ⅲ 今後の方策（各校の具体的な取組）

【小学校・国語】

- ・常に辞書を利用して調べる習慣作りをする。
- ・速読、読み比べ、拾い読み、多読など効果的な読みを経験させる。
- ・叙述に即した読みの習熟に努める。
- ・確実に読んで内容を理解するために、答えやその根拠となる部分にサイドラインを引きながら文章を読むことを指導する。
- ・文章を読み解く力を高めるために、主語述語、修飾、接続などの言葉のきまりを手がかりとして文章を読むことを指導する。
- ・立場をはっきりさせてのパネルディスカッションを意図的に設け、自分の考えをはっきり話したり、相手の意見をきちんと聞くことができるようにする。
- ・自分の考えをまとめたり、字数を制限して要約させたりして、題意に適した書き方ができるようにする。
- ・読み取ったことをまとめて書く力をつけるために、キーワードやキーセンテンスをつないで要約文を書く学習を取り入れる。

- ・ローマ字を積極的に活用して、ローマ字に触れる機会を多くもつ。
- ・資料や数値を根拠にして意見を述べたり、新聞づくりを行う。
- ・テーマを設定して、作文を書く時間を確保する。
- ・短作文を書いた後、言葉や接続詞に気を付けて校正する時間を保障する。

【小学校・算数】

- ・児童の意欲付けにつながる問題・課題づくりを工夫する。
- ・資料から数学的な考え方をを用いて情報を取り出す問題を取り入れる。
- ・問題を解くときの見積もりを習慣化させ、見通しをもった解決ができるようにする。
- ・数直線や図を使って考えたり説明したりする活動を多く取り入れる。
- ・文章問題をイメージしたり図式化したりして、立式する活動を重視する。
- ・具体物や半具体物を使った考える時間を確保するとともに、互いの考えを発表できる場の設定を充実させる。
- ・図形や数量関係では、具体的な操作を取り入れて実感させていくとともに、言葉をきちんと押さえて説明できるようにする。
- ・形式的な習熟に終始することがないようにして、計算や答えの出し方に意味づけができるような指導に努める。
- ・思考の流れが分かるようなノートを取り方を工夫させる。
- ・生活の中での活用場面を考えさせる時間を設定する。

【小学校・その他】

- ・ゲストティーチャーを活用したり体験活動を多く取り入れたりとすることで、興味・関心を高め、思考力や探求力の向上を図る。
- ・テーマを設定したスピーチタイムや短作文に継続的に取り組み、聞き手も話し手の意図を意識した感想発表ができるようにする。
- ・様々な行事、活動等の事後指導で扱う作文を効果的に活用する。
- ・音読の継続を推進するとともに、音読集会を企画し、読みの表現を高める。
- ・読書好きの子を育てるために、学級文庫の入れ替えや定期的な読み聞かせを実施する。
- ・「家庭学習の手引き」を作成し、宿題、自主学習、本読みに取り組むよう指導する。
- ・家庭での親子読書を呼びかける。

【中学校・国語】

- ・資料に基づいて自分の考えを書いたり話したりする時間を授業の中に設ける。
- ・自分の意見が効果的に伝わるようなスピーチの工夫に取り組む。
- ・スピーチの際に質問する機会を設ける。
- ・本文の表現を根拠にして書いたり話したりする活動を設定し、内容を正確に読み取る授業を行う。
- ・根拠にする意見として適切なものを選ぶように、作文練習等で論拠として適切なものは何かを選ぶ練習に取り組む。
- ・聞き取りの後に箇条書きでメモをとる練習に取り組む。
- ・辞書をひく習慣が十分に身に付いていないことから、授業の中で辞書を活用する機会を意図的に設ける。
- ・短歌や俳句の鑑賞を通して、技法や句切れなどの基礎事項の理解や、より多くの作品を取り上げ、心情や情景などを想像できる力を伸ばす。

【中学校・数学】

- ・身近な事象を取り入れた問題を多く扱い、数学的な判断力、活用する力を育てる。
- ・根拠を明らかにしながら説明する活動を多く設定した授業を行う。
- ・授業において、生徒自身の言葉でまとめさせる時間を多く設定する。
- ・関数の指導では、表・式・グラフの3つの要素を必要に応じて使い分けることができるように授業の中で丁寧に扱う。
- ・計算の領域で積極的に分数指導を行い、苦手意識を克服させる。
- ・複雑なルール設定のゲーム場面を問題として取り扱う。

【中学校・その他】

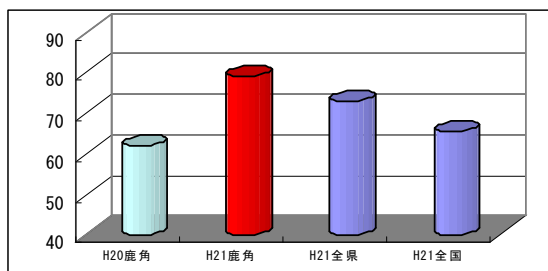
- ・授業についてのアンケートを実施し、授業改善を図る。
- ・週末に課題を与え、今週の学習のまとめを家庭で行い、基礎・基本の確実な定着を目指す。
- ・定期テスト前に学習相談の時間を設け、定着が不十分な学習内容の克服を図る。

IV 児童生徒質問紙調査の結果

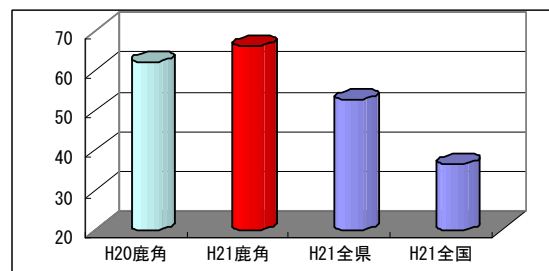
1. 小学校

○良好な事項

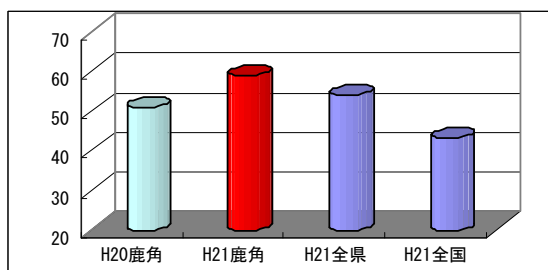
学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか 【している】



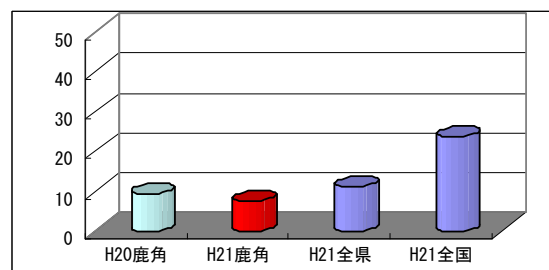
普段(月～金曜日)、何時ごろ起きますか 【午前6時30分前】



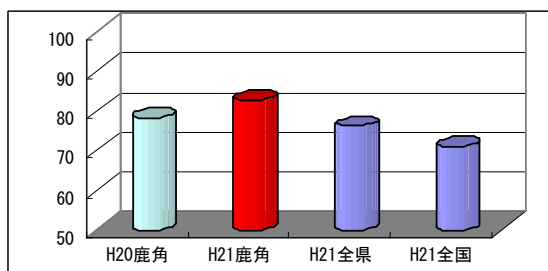
普段(月～金曜日)、何時ごろ寝ますか 【午後10時前】



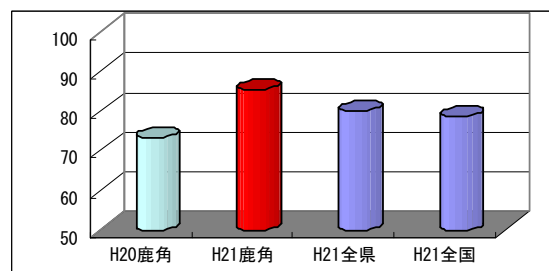
携帯電話で通話やメールをしていますか 【毎日、ときどきしている】



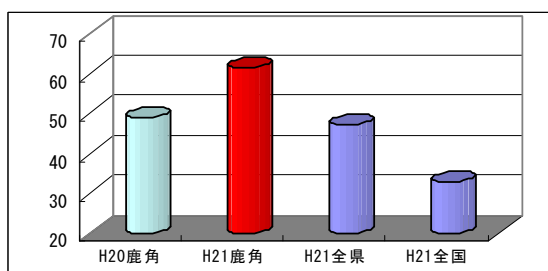
家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか 【している】



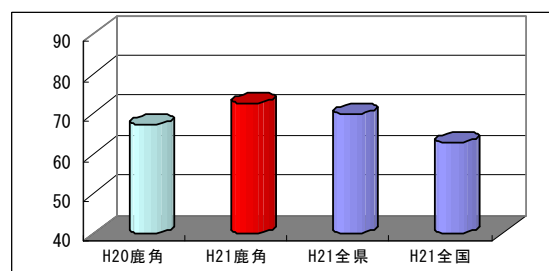
学校で好きな授業がありますか 【そう思う】



今住んでいる地域の行事に参加していますか 【当てはまる】

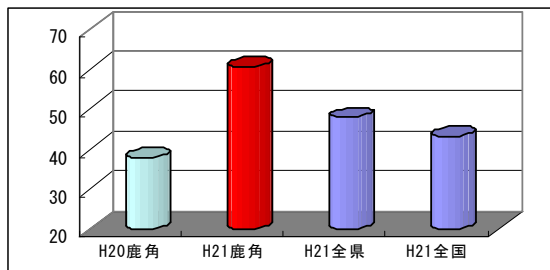


近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか 【当てはまる】



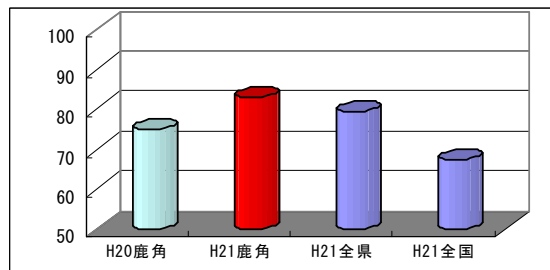
普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

【当てはまる】



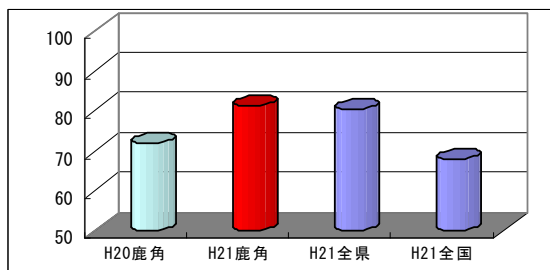
解答を文章で書く問題について、どのように解答しましたか

【最後まで解答を書こうと努力した】



言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか

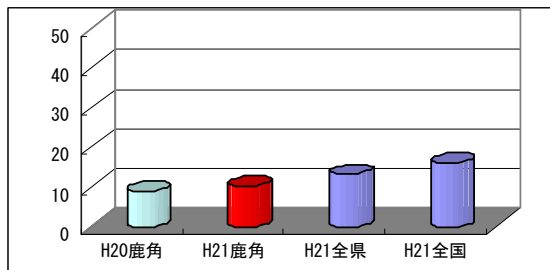
【最後まで解答を書こうと努力した】



△課題となる事項

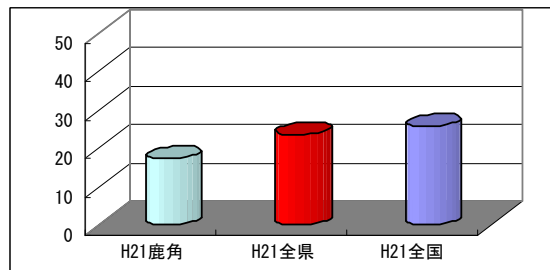
家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらい読書しますか

【1時間以上】



学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか

【難しいと思う】

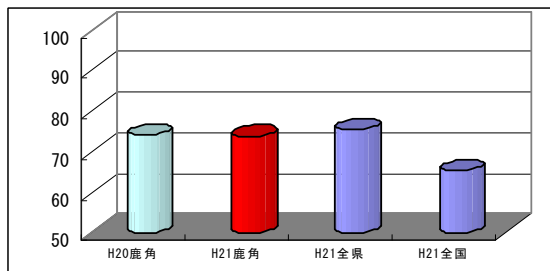


2. 中学校

○良好な事項

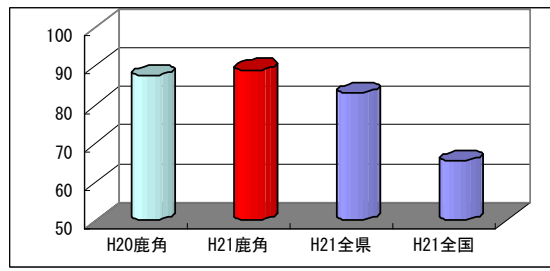
学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか

【している】



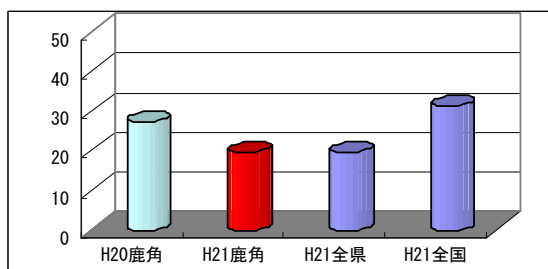
普段(月～金曜日)、何時ごろ起きますか

【午前7時前】



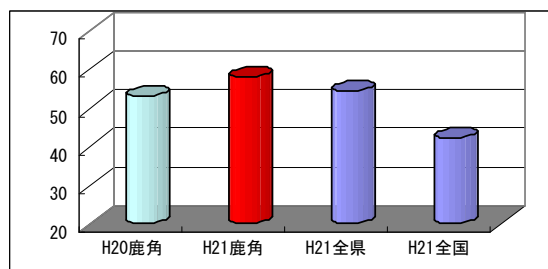
携帯電話で通話やメールをしていますか

【ほぼ毎日している】



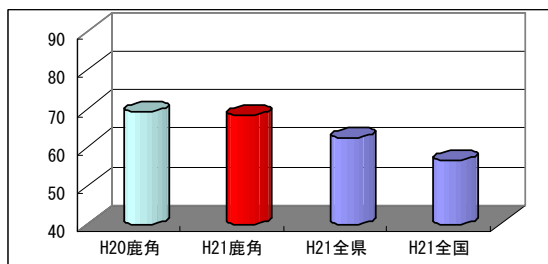
家の人と普段(月～金曜日)、朝食を一緒に食べていますか

【している+どちらかといえばしている】



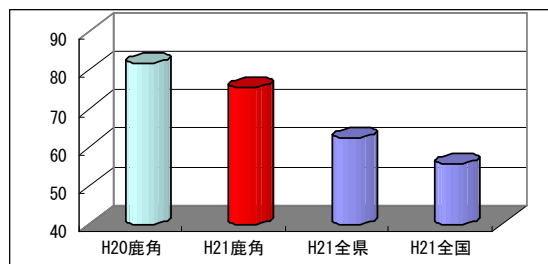
家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか

【している+どちらかといえばしている】



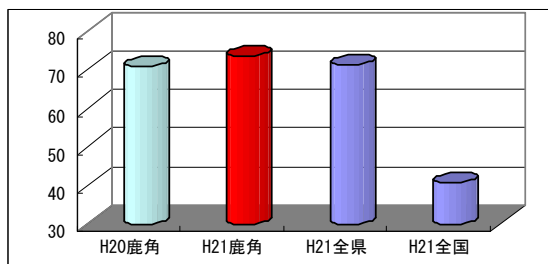
家で学校の宿題をしていますか

【している】



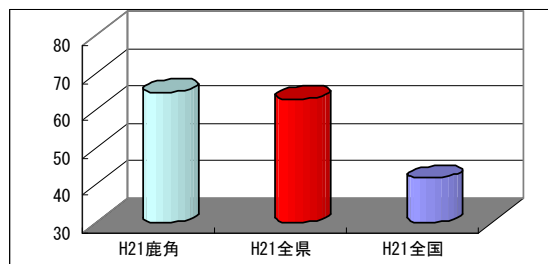
家で学校の授業の復習をしていますか

【している+どちらかといえばしている】



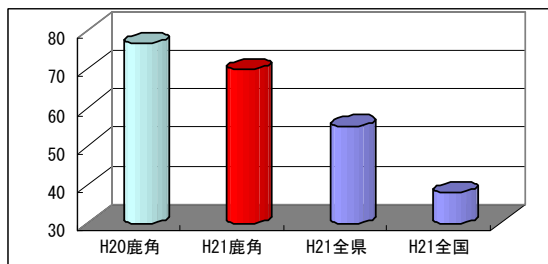
家で苦手な教科の勉強をしていますか

【している+どちらかといえばしている】



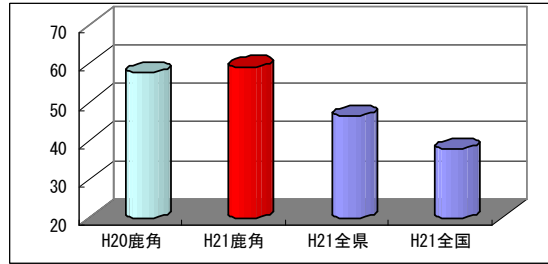
家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか

【している+どちらかといえばしている】



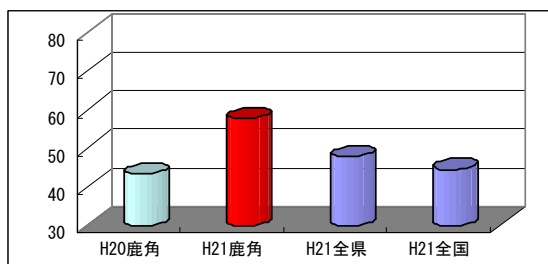
今住んでいる地域の行事に参加していますか

【当てはまる+どちらかといえば当てはまる】



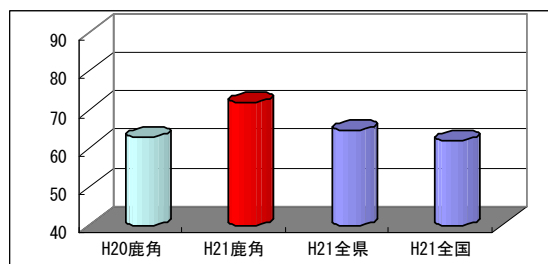
学校の規則を守っていますか

【当てはまる】



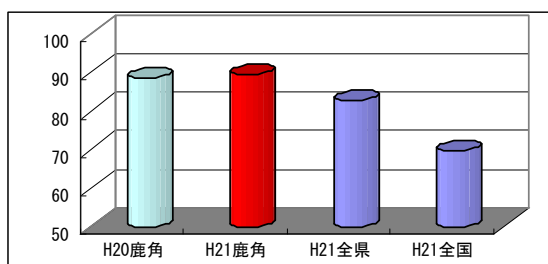
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか

【当てはまる】



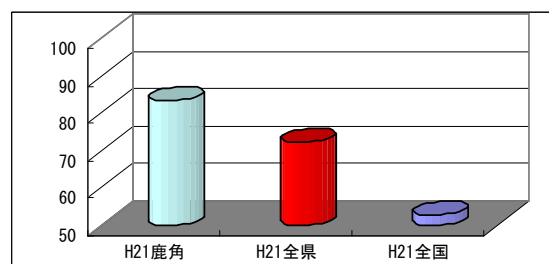
普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



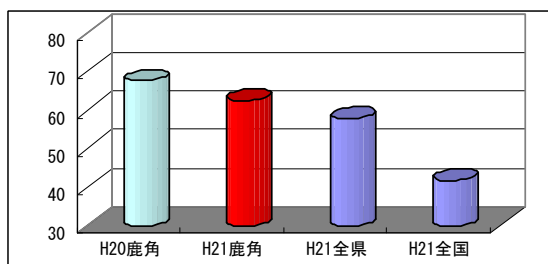
普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



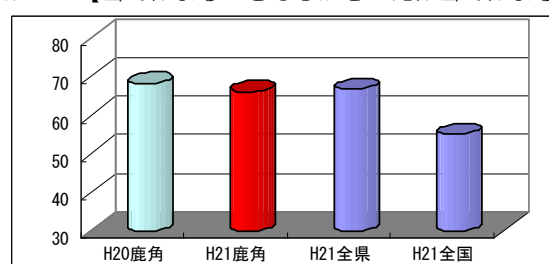
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



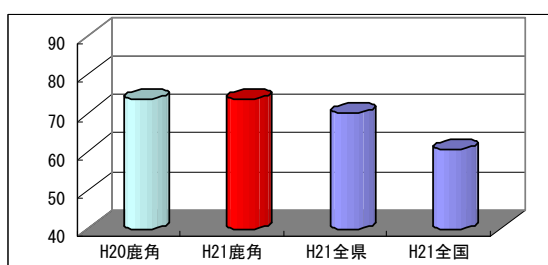
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



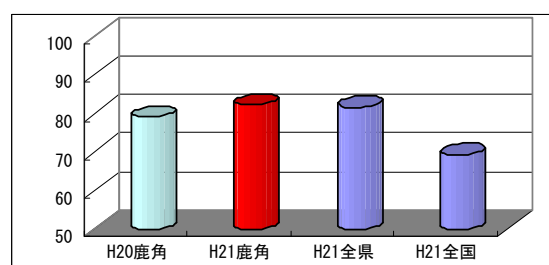
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



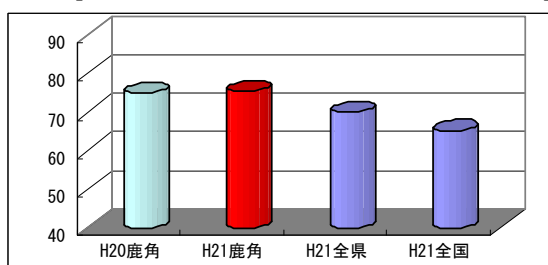
解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか

【最後まで書こうと努力した】



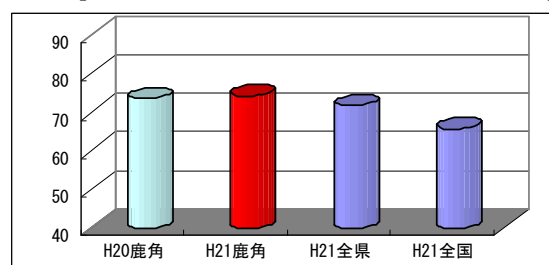
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



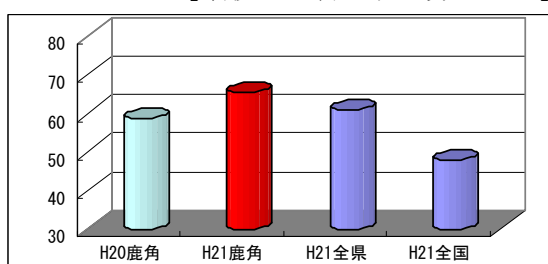
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか

【当てはまる＋どちらかといえば当てはまる】



解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか

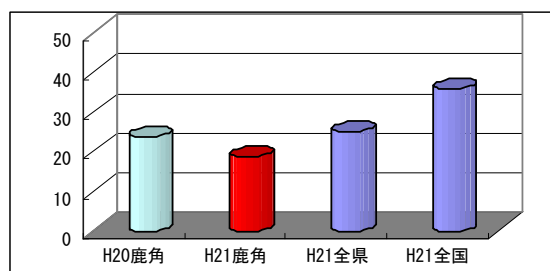
【最後まで書こうと努力した】



△課題となる事項

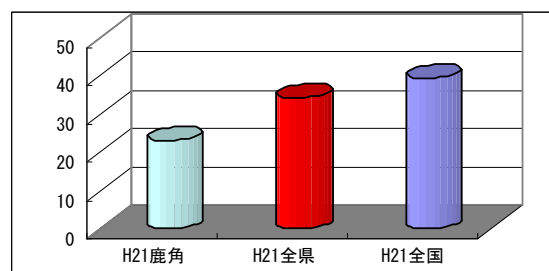
学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか

【2時間以上】



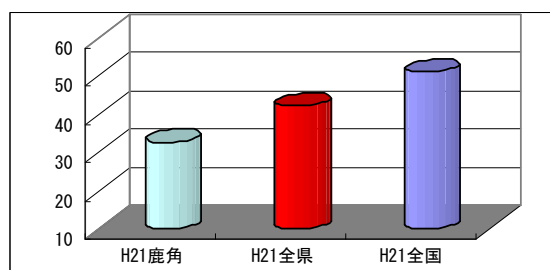
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか

【年に数回以上行く】



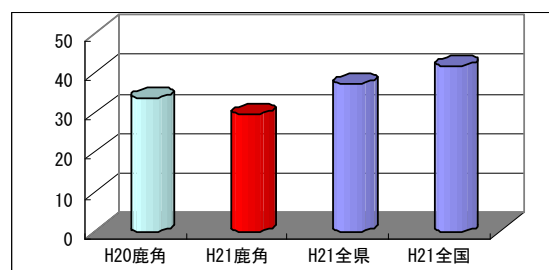
授業では、ノートを丁寧に書いていますか

【当てはまる】



数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

【当てはまる】



3. 調査の結果から

- (1) 小・中学校とも、「普段(月～金曜日)の起床時間【小・6時30分前、中・7時前】」、「家の人と普段(月～金曜日)夕食を一緒に食べている」、「今住んでいる地域の行事に参加している」、「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられている」、「解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力する」、「解答を言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力する」の6項目については、全国平均はもとより、全県平均を上回っており、望ましい傾向である。
- (2) 小学校において、全国平均を下回る項目数が昨年度13項目だったのに対し、今年度は2項目と大幅に減少しており、改善が見られる。「家や図書館での1日あたりの読書量」、「自分の考えを説明したり、文章に書くこと」の2項目については、今後も指導方法の工夫や授業改善、家庭との連携を図りながら、良好な学習習慣の形成に努めていきたい。
- (3) 中学校において、「1日あたりの勉強時間(2時間以上)」が全国・全県平均を下回るとともに、昨年度の本市の平均をも下回った。テスト結果は全県平均並みであるが、更に向上するためにも、授業以外での学習時間の確保に向けた取り組みを家庭と連携しながら改善を図ってきたい。また、「学校図書館・室、地域の図書館の利用」、「授業のノートの書き方」についても、計画的な取り組みを行い、望ましい学習習慣の形成に努めていきたい。